

上戸田地域交流センター「あいパル」は **戸田市の男女共同参画の推進拠点** です！

男女共同参画コーナー(1階 階段前)や、書架(2階 図書館分館)などを設置しています。

**男女共同参画相談 (電話予約 → 対面相談)** 夫婦・家族・友達・性のことなどを相談できます。

**「あいパル」のイベント・講座を Pick up!** ※詳細はあいパルのHPをご覧ください。



イベント名	内容	実施日	参加費	事前受付開始日
【市民大学講座】 男女共同参画フォーラム	小池弘之氏、小池里枝氏、山田純子氏より、クラシック音楽界とジェンダーのお話を伺います。	2月15日(土) 14:00~16:00	無料	受付中
(市民大学講座含む) あいパルみんなの防災 DAYS	男女共同参画パネル展・グッズ展、能登半島被災から学ぶ防災とクロスロード(シミュレーションカードゲーム)体験	1/25(土)~2/2(日) ※詳細は、防災DAYSのチラシをご覧ください。		
パパと一緒にリトミック	ソプラノ歌手の先生の歌や演奏に合わせて体を動かすほか、季節に合わせた作業も楽しめます。	①2月23日(日) ②3月23日(日) A:10:00~10:45 B:11:00~11:45	各800円	①1月5日(日)~ ②2月5日(水)~
パパと一緒にふれあいタイム	手遊びをしたり、子育ての悩みや不安を助産師に相談できます。手形足形をとることができます。	①2月9日(日) ②3月16日(日) 10:00~12:00	各700円	

戸田市では令和4年度から **配偶者暴力相談支援センター** を開設し、DV被害について悩んでいる方の相談をお受けしています。

秘密は厳守します。一人で悩まず、まずはお問合せください。詳しくはこちらよりご覧ください▶



DVとは、夫婦や恋人など、親密な関係にある人からの暴力をいいます。「殴る・蹴る」だけでなく「暴言を吐く・大声でなる」「性的関係を強要する」「避妊に協力しない」「友人や家族とのやりとりをチェックする/禁止する」「生活費を渡さない」などが含まれます。

**命の危険を感じたら 110番を!**

**困った時・悩んでいる時の相談窓口** (DV相談・性に関するお悩み・LGBTQ関連等)

相談の名称(方法)	実施機関	受付日	相談時間	電話番号
男女共同参画相談(対面)	上戸田地域交流センター「あいパル」	毎日(第3月曜日、年末年始除く。ただし、第3月曜日が祝日の場合は受付可)	10:00~17:00 ※要電話予約	048-229-3133
DV相談(対面)	戸田市配偶者暴力相談支援センター	月~金曜日(祝日、年末年始除く)	8:30~17:15 ※要電話予約	048-299-5886
こころの健康相談(電話・対面)	戸田市福祉保健センター	月~金曜日(祝日、年末年始除く)	9:00~12:00 13:00~16:00 ※対面相談は要予約	048-446-6453
With You さいたま電話相談	埼玉県男女共同参画推進センター 「With You さいたま」	月~水、金、土曜日:9:30~20:30 日曜日、祝・休日:9:30~17:00 (木曜日、年末年始除く)		048-600-3800 (さまざまな悩み相談) 048-600-3700 (DVに関する相談)
With You さいたまインターネット相談		毎日24時間受付		
男性のための電話相談		毎月第1・3日曜日	11:00~15:00	048-601-2175
お悩みチャット@埼玉	埼玉県	日・水・金曜日(年末年始除く)	15:00~20:30	
埼玉県性的マイノリティ県民相談	埼玉県	土曜日(年末年始除く)	18:00~22:00 (最終受付21:30)	0570-022-282
DV相談プラス	内閣府	毎日24時間受付		0120-279-889

第13回 **性別にかかわらず いきいきと働ける市内の企業を紹介!**  
**株式会社 えぐち**

昭和21年の設立以来、LPガス供給、公共水道工事、住まいの修理・リフォーム工事等をおとして、皆様の毎日の生活をサポートしています。常に技術の向上に努め、お客様のニーズにいつも目を向け、創意工夫し、快適な生活環境を提案できるように努めています。



当社では、性別に関係なく業務を行える体制を築くとともに、特別休暇やフレックスタイムの導入を行い、長く働ける環境を整えています。実際に、育児休業を取得した後に復帰して現在も勤めている社員もいます。



また、「地域とともに歩むえぐち」として、定期的にフェアを開催したり、構内には非常時に炊き出し設備として利用できる「災害用LPガス供給ユニット」を備えています。今後も働きやすい職場づくりを行うとともに、地域社会に必要とされる会社を目指していきます。

～戸田市からのお知らせ～

つばさ編集協力員を募集  
任期：令和7年4月1日～  
令和9年3月31日



戸田市パートナーシップ・ファミリーシップ届出制度の連携拡大



男女共同参画人材リストの登録者募集



2025.1  
Vol.72

戸田市男女共同参画情報紙

つばさ



特集

能登半島地震から一年・・・  
男女共同参画の視点で見る「戸田市の防災」



写真：令和5年度戸田市住民版防災訓練

Contents

- ・ 特集
- ・ 戸田市の男女共同参画の推進拠点「あいパル」のイベント・講座案内
- ・ 配偶者暴力相談支援センターの案内
- ・ 困った時・悩んでいる時の相談窓口
- ・ 性別にかかわらずいきいきと働ける市内の企業を紹介!
- ・ 戸田市からのお知らせ



「つばさ」のバックナンバーはこちらから

# 能登半島地震から一年・・・ 男女共同参画の視点で見る「戸田市の防災」

令和6年1月1日、最大震度7の能登半島地震が、9月21日には同地方を豪雨が襲いました。犠牲となられた方々やご家族にお悔やみを申し上げるとともに、被災された方々にお見舞い申し上げます。そして、1日も早く復興されることをお祈りいたします。このように自然災害はいつやってくるかわかりません。今号では男女共同参画の視点から戸田市の防災を紹介します。非常時に誰もが安心・安全に避難所生活が送れるよう、体制を整えています。

戸田市や県内の市町村において、危機管理に関わっている女性職員の割合を調べました。また、避難所や備蓄品についても調べました。どのような影響や傾向が見られるのでしょうか。

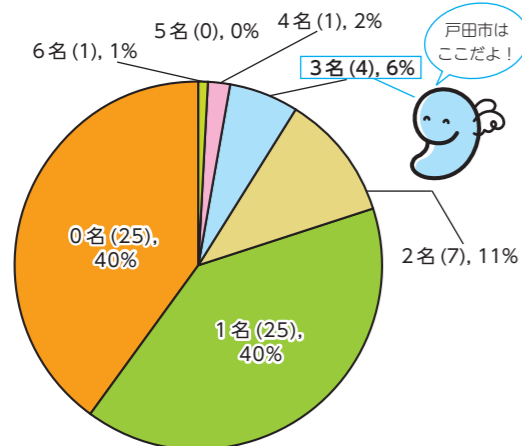
## ■防災分野における女性職員について

戸田市は、県内の人口10万人以上の市区町村において、防災分野の女性職員の割合が一番多く、防災に女性の視点を取り込むことに力を入れています。性別の偏りなく、多角的な視点で物事を考えるように努めています。

人口10万人以上の県内市町村における  
防災・危機管理部局の女性職員割合ランキング  
(R5.12.31現在、上位5市町村)

順位	市町村	割合	人数
1	戸田市	33.3%	3人 / 9人
2	新座市	26.7%	4人 / 15人
3	久喜市	25.0%	3人 / 12人
3	入間市	25.0%	2人 / 8人
5	鴻巣市	22.2%	2人 / 9人

県内市町村における防災部局の女性職員数  
(R5.12.31現在)



カッコ内は市町村数

出典 「令和5年度 地方公共団体における男女共同参画の視点からの防災・復興に係る取組状況について(内閣府男女共同参画局)より」

## ■避難所運営や備蓄品について

戸田市が開設する各避難所には、災害時に勤務することを事前に指定された職員が5名おり、必ず1名以上が女性職員となるように配置しています。この体制は、実際の被災地での、女性ならではの視点を求める声や女性からの「同性の方が相談しやすい」という意見を参考にしたものです。また、戸田市では、男女共同参画の視点から、備蓄品の見直しや改善も実施しています。最近では、夜間のトイレ利用時の性被害の恐れを感じたとの実体験を能登半島地震後の報道で知り、女性職員の発案により「ライトつき防犯ブザー」を避難所の備蓄倉庫に備えました。

避難所の倉庫にある備蓄品は、ホームページからご覧いただけます。



避難所の備蓄品に関する  
(戸田市 HP)

個人の実情に応じて必要な備蓄品は異なります。万が一の災害に備え、各ご家庭でも必要なものを確認し、積極的に備蓄をしましょう。

## 災害時に女性に必要とされる主な物資の例

- サニタリーショーツ等の衛生用品
- 女性用下着
- 生理用品・おりものシート
- 中身の見えないごみ袋
- 防犯ブザー
- ホイッスル
- スキンケアグッズ
- 目隠しポンチョ

家にある備蓄品を見直してみよう!



## 戸田市の防災に関する役割を担う危機管理防災課にインタビューしました!

**Q1.** 業務を行う上で、防災分野における男女共同参画の視点をどのように考えていますか。

**A1.** 現在では“当たり前のこと”として業務に反映していくべきことです。また、性的マイノリティの人に対する視点も忘れてはいけないと考えています。

**Q2.** 避難所運営には、男女共同参画の視点がどのように反映されていますか。

**A2.** 男女双方の視点に配慮するため、「避難所運営委員会」に女性の参画を図っています。女性の意見を十分に取り入れた避難所運営となるよう、防災分野への女性の参画を避難所等開設・運営手順書(発災した時の運営の参考とし、避難時にかかわる職員・自主防災会・施設管理者などに配付)に明記しています。

**Q3.** 市民が戸田市の防災に参加する方法として、どのようなことが挙げられますか。

**A3.** 市では様々な訓練を行っていますが、災害を自分ごととして捉えていただくため、大規模停電を想定した夜の避難訓練「ブラックアウト訓練」や、市役所を会場にした「消防・防災フェア」の開催を予定していますので、ぜひご参加ください。

また、中学生の皆さんには「中学生防災士資格取得支援補助金制度」が始まっており、昨年度は28人の防災士が誕生しています。興味を持っていただけたら、気軽に危機管理防災課へお問い合わせください。

**Q4.** 男女共同参画視点の防災について、市民に伝えたいことはありますか。

**A4.** “男女共同参画視点の防災”と聞くと難しく思えますが、皆それぞれ出来ることを、お互いに尊重し合って考え、取り組んでいくということが何よりも大切だと思っています。それは、事前の備えでも、避難所の運営でも、どの局面でも当てはまると思います。防災について考える時には、全戸配布している“戸田市ハザードブック”をぜひご覧ください。



戸田市ハザードブック  
「災害を『我が事』として考える本」



## 戸田市で活躍している女性防災士さんに話を聞きました!



喜沢一丁目町会自主防災会  
防災士 大森康代さん

防災士になったきっかけは、埼玉県の自主防災組織リーダー養成指導員となったことにより、災害について学びだしたことからでした。戸田市で補助金を出してくださることを知り、手を挙げさせていただきました。防災士は、災害があった時に人を助けるという役目ではありません。「災害に備え、どうしたらよいのか。災害が起きた時には、どうしたらよいのか。」を事前にお伝えすることが役目となります。現在、戸田市防災士会で地域の防災イベント等に参加・協力させていただいています。

## つばさ編集協力員の感想 ～編集を終えて～

戸田市が設置した各避難所には必ず1名以上の女性職員の方がいらっしゃるかと初めて知り、安心感や心強さとともに、こうした取り組みが着実に進められていることを嬉しく思いました。一方で「埼玉県内市町村における防災部局の女性職員数」0名の自治体が40%であることに驚きました。今後に期待しています。また、非常時にも自分や周りの人を守るよう、必要なものを改めて備えようと思いました。防災袋や備蓄品を見直します! (アクツ)

近年の災害は頻度や規模においてこれまでの経験を越えるものとなっています。もはや市民一人ひとりが備えを厚くする時代であり、行政も災害対応をアップデートする時です。災害の質・量に合わせるだけでなく、避難所における性差等による不安定な状況を公平の観点から改善していくことが必要になっています。災害時では備蓄品の提供をし、平時では個人を尊重する意識の啓発推進が、誰もが心地よい社会を実現する第一歩と言えるでしょう。(細井)

東日本大震災発生当日の午後、市文化会館が避難所となり、私も担当職員として従事しました。開設早々から避難して来られた大半は、夫は仕事で不在だが住まいが危険と判断した子供連れの女性たちや高齢者のご家族だったと記憶しています。夜半過ぎには帰宅難民者の受け入れもあり多くの方で一夜を過ごしました。今思うに、昼間の震災では家族が揃っているとは限らないので、日頃から有事の際での避難場所や連絡方法は決めておくことが必然と痛感しています。(頓所)